


第3回スマートものづくり応援ツール 応募フォーマット

ツール名称	「IoTの最小単位」 μ3 マイクロキューブ			56		
ツール紹介 (特徴・導入事例)	<p>μ3（マイクロキューブ）は、「IoTの最小単位」をコンセプトに開発したデータ収集デバイスである。</p> <p>近年課題解決や生産性向上を目的として、自社の企業規模に合わせた「ミニマムタイプのIoTツール」を開発する動きが出始めており、弊社のμ3も、そうした流れに沿って製品化したものである。</p> <p>その後、工作機械や設備などの状態を可視化したいというニーズが急激に増加したことを受けて、IoTは初めてというユーザーを対象に、「最小のコストでIoT体験ができるシステム」として提案を開始した。</p> <p>もともと、μ3は弊社が行った業務効率化のための社内カイゼンの取り組みから生まれたツールである。</p> <p>具体的には、スタンディングデスク（立ったままでPC入力等のデスクワークを行うワークスタイル）を社内を導入する際、デスクの高さの変化と作業者が感じる疲労の因果関係を可視化するためのデータ収集デバイスとして社内を開発した。</p> <p>ユーザーが導入しやすいよう、インターネット上で無料利用できるデータロギングサービスと組み合わせ、システム利用料や従量課金制等のランニングコストを必要としない構成にしており、Wi-Fi環境さえあれば、インシャルコストおよそ3万円で手軽にIoTを始めることができる。</p> <p>μ3は目的や用途に応じて、温度・湿度センサーや人感センサー、圧力センサー、照度センサー等、多様なセンサーと組み合わせることができるうえ、初級者でもデータ収集の環境をスムーズに構築できるよう本体と専用アプリケーションをセットで販売している。</p> <p>【使用例】</p> <p>①照明センサーで室内の照度データを収集し、季節や時間帯によって変化する明るさを可視化することにより、無駄な電気代を節約することができる。</p> <p>②温度センサーで室内の温度データを収集し、エアコンの効き具合を可視化することにより、最適な設定温度を調査できる。</p> <p>③電流センサーで産業用自動機の稼働データを収集し、稼働していない無駄な時間を可視化することにより、効率的な運用の見直しができる。</p> <p>なお、本製品はカスタマイズにより、設定したしきい値を超えた場合に管理者にメールで通知したり、他の機械や装置に制御信号を送って起動したりすることも可能となる。</p>					
	ツールWeb	https://www.memotechnos.co.jp/products/iot				
ツール分類	カテゴリ	IoTデータ分析・表示	価格レンジ	3万円未満		
ツール図・写真			提供者名	株式会社MEMOTEKNO		
			提供者Web	https://www.memotechnos.co.jp/		
			問合せ先		電話	042-810-0130
			E-mail	com@memotechnos.co.jp		
			ツール提供者情報	<p>ランニングコストがかからない、手軽にはじめるIoTデバイス。</p> <p>μ3 マイクロキューブ</p> <p>価格 29,800 円 (税抜) ~</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ランニングコストゼロ ● インターネットによるリアルタイム通信 ● 専用アプリでらくらくセットアップ ● カスタマイズ対応 		
			<p>IoTの最小単位。</p>			